

【アオサンゴ勉強会】

大浦湾のアオサンゴについて学ぼう！

2007年9月に発見された大浦湾のアオサンゴ群集。長さ50m、幅30m、高さ14mの大きなきれいなアオサンゴ。とても大事なので、名護市の天然記念物にしてくださいという願いも来ているそうです。

そもそもアオサンゴという名前はどこから来たの？石垣島・白保のアオサンゴと比べたらどうなの？

世界の他の海にもいるのかな？

そんなアオサンゴの不思議について、発見されて以来、ずっとこの海を見守ってきたサンゴの研究者の安部真理子さんにお話を聞いてみましょう。

アオサンゴの
まわりだけでも
楽しく遊べるね



ジュゴンとウミガメ (東恩納)



アオサンゴの枝から顔を出すウツボ©すなふきん

生物多様性の
豊かな海



日時：2014年6月6日(金)午後7時～9時 (18:30 時開場)

場所：名護市役所 久志支所

講師：安部真理子 日本自然保護協会

参加費：無料

問合せ先：じゅごんの里 東恩納琢磨

TEL 090-9786-9471, TEL/FAX 0980-55-8587



◆講師プロフィール 安部真理子

日本自然保護協会 保護・研究部。大学・大学院にて生物学と生化学を専攻し、WWF ジャパンに8年間勤務。オーストラリアのジェームズクック大学院修士課程に留学し、続いて琉球大学博士課程にてアザミサンゴの多様性に関する研究で博士号(理学)を取得。1997年に日本国内でのリーフチェック立ち上げに関わった一人であり、以来コーディネーターをつとめている。沖縄リーフチェック研究会会長、日本サンゴ礁学会評議員、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会理事。現職、日本自然保護協会では2010年4月より辺野古、泡瀬干潟、嘉陽などの問題を担当している。

★日本自然保護協会は 日本の自然の仕組みを調べ、守り、その意味と価値を社会に広める活動を半世紀以上行ってきました。暮らしを支える日本の自然の豊かさ=生物多様性を現場の知識と実行力で、日本の自然を守る。それが日本自然保護協会です。<http://www.nacsj.or.jp/>

★じゅごんの里は 国の天然記念物ジュゴンがすむ素晴らしい海を町おこしに活用するために、1999年に立ち上げられました。以後多くの修学旅行の受け入れを始め、多くのお客様に豊かな自然を紹介してきました。<http://www.dugongnosato.jp/>

会場アクセス



名護市役所 久志支所
名護市字瀬嵩7番地1
電話:0980-55-8101/0980-55-810

主催：日本自然保護協会 後援：じゅごんの里